



お問い合わせ

OCDBE
University of Cincinnati Systems
Development & Improvement Center
(シンシナティ大学システム開発&
向上センター) 614-897-0020
ohiodeafblind.com

Lyn Ayer, PhD
コンサルタント
ayerl@wou.edu

Lynne Hamelberg, PhD
家族情報・アウトリーチ
スペシャリスト
lynne.hamelberg@uc.edu

Aimee Howley, EdD
プロジェクト評価者
aimeehowley@gmail.com

Deborah Telfer, PhD
プロジェクト責任者
deborah.telfer@uc.edu

Ohio Center for Deafblind Education (オハイオ州盲ろう者教育センター) は主に、米国教育省の障害者教育局 (Office of Special Education Programs) の Special Education Programs (特殊教育プログラム) による助成金 (#H326T180011) によってサポートされています。ターゲット活動にあたっての付加的サポートは、オハイオ教育省 (Ohio Department of Education) によって提供されています。本ガイドに盛り込まれている見識は米国教育省の見解を表明するわけではありません。連邦政府による支持や承認を受けたものとはみなさないでください。プロジェクト責任者: Eric Caruso.

© 2022 The Ohio Center for Deafblind Education, University of Cincinnati Systems Development & Improvement Center.
禁無断複製。

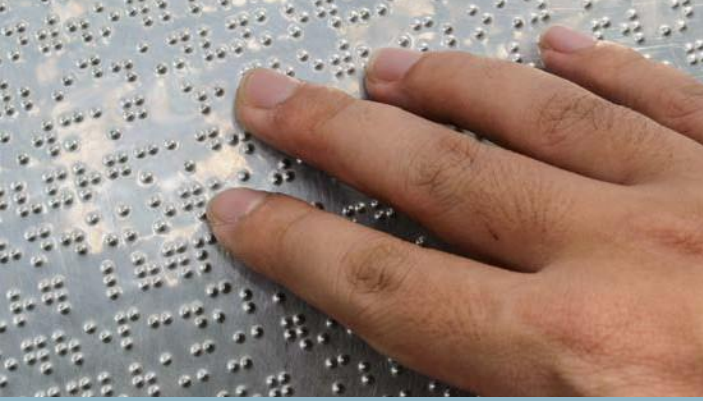


概要

Ohio Center for Deafblind Education (OCDBE: オハイオ州盲ろう者教育センター) は、視覚と聴覚両方の障害を抱える (盲ろうとも呼ばれます) 21歳以下の個人の家族、教師、サービス提供者に技術支援、トレーニング、遠隔教育、ネットワークの機会提供を行うことを目的とする州規模のプロジェクトです。

Ohio Center for Deafblind Education (オハイオ州盲ろう者教育センター) は、聴覚と視覚両方の障害を抱える子どもや青少年の成果の改善にあたって親や保護者、教師、サービス提供者のサポートに取り組んでいます。私たちは、技術支援、訓練、情報共有を通して、盲ろうの人たちが家庭生活を送り、学校で学び、コミュニティ内で社交を深め、自らが選択するサービスにアクセスする上で、彼らの生活の質の向上を目指しています。

OCDBE の目標とは、オハイオ州の Pre-K-12 (幼稚園～高校) 教育制度の潜在性を持続的に強化および拡張し、盲ろうの子どもが卒業後に大学または就職という進路に進めるよう準備し、それぞれの子どもが自立して生活し、経済的に自足してより大きなコミュニティの完全かつ積極的な一員となる機会を改善することです。



盲ろうについて

盲ろうは複雑な言葉です。何も見えない、または聞こえない人以上には当てはまらない言葉だとしよ、つちやう聴覚と視覚両方の障害を抱える人に該当する言葉です。

聴覚と視覚両方の障害を抱えていることで、情報へのアクセスとコミュニケーションの方法に大きな支障が起きます。青少年が家庭、学校、コミュニティから環境にアクセスできるように徹底し、彼らがコミュニケーションを図れるような機会を与えてあげることが非常に大切です。

Ohio Department of Education, Office for Exceptional Children (オハイオ教育者特殊児童局) は盲ろうについて、「耳の聞こえない、または目の見えない子どもに特化した特殊教育プログラムでは対処することができない重大なコミュニケーション等の発達および教育ニーズが生じるような、聴覚障害と視覚障害が同時に生じること」と規定しています (Ohio Operating Standards for the Education of Children with Disabilities (オハイオ州障害児教育の運営基準)、2014年7月1日)。

私たちが行うこと

専門的な学習、訓練、コンサルテーション

OCDBE は、無償の専門的な学習、訓練、コンサルテーションを含むさまざまなサービス (Deafblind Technical Assistance Program (盲ろう者技術支援プログラム) または DBTAP (盲ろう者技術支援プログラム) とも呼ばれます) を聴覚と視覚両方の障害を抱える子どもをサポートする家族、サービス提供者、教育者 (例: 教師、介入スペシャリスト、関連サービス従事者、管理者) に提供します。OCDBE は階層化されたモデルを採用し、情報普及、そして強度と期間の異なるサービスの提供にあたっての州規模のリーチを徹底します。

OCDBE は、オハイオ州全数調査に登録されている子どもの親/家族を対象とするリトリートを毎年実施します。専門学習トレーニング機会の例:

- 仲裁人のようなコンピテンシーの開発
- LifeCourse (ライフコース) プランニングの利用
- 効果的な評価と介入の活用
- 伸張可能なコミュニケーションの活用
- 行動とコミュニケーションの理解
- その他...

“ 実に素敵なお保護者リトリートを開いてくださった Lynne と OCDBE チームのみなさんに感謝します。毎年春が楽しみです”。
—Suzanne P. (盲ろうの子ども親)

リトリート、訓練、コンサルテーションサービスはウェブサイト (www.ohiodeafblind.com) にて確認できます。National Child Count (国内の盲ろう者の子どもの全数) の詳細については、<https://nationaldb.org/> をご覧ください。



全数調査

聴覚と視覚両方の障害を抱える生徒が、Ohio Deafblind Census (オハイオ州盲ろう者全数調査) を通じ、オンラインで早期に正確に特定され、登録されることが大切です。毎年、盲ろう者の子どもを対象とする州のプロジェクトでは、州内で特定される子どもの数が報告されており、この数字が National Child Count (国内の盲ろう者の子どもの全数) に算入されます。全数調査の情報は、家族、学区、機関関係者に対する訓練とサービスの提供をサポートするための連邦政府の出資額を決定するために用いられます。

直近の全数調査情報では、国内の全数調査登録されている10,000人の盲ろう者のうちの約400人がオハイオ州市民であることが明らかになっています。

Ohio Center for Deafblind Education (オハイオ州盲ろう者教育センター) 全数調査登録は、ウェブサイト (www.ohiodeafblind.co) にて確認できます。

DBTAP コンサルテーションサービス

Ohio Deafblind Census (オハイオ州盲ろう者全数調査) に登録されている子どもを対象に、OCDBE は、中等教育後計画の一環として家庭、学校、コミュニティ内の家族と教育者に対して無償で Deafblind Technical Assistance Program (DBTAP: 盲ろう者技術支援プログラム) コンサルテーションサービスを提供しています。コンサルテーションは、対面またはバーチャル形式で実施されます。

子どもの親や保護者または教育者からの要請を受け、DBTAP コンサルタントは子どものチームと面会し、懸念を特定します。コンサルタントは、子どもの観察、観察について子どものチームとの話し合い、提言や提案、所見と提言をまとめた報告書のチームへの提供を行います。さらに要請があれば、DBTAP コンサルタントはフォローアップ会議に出席し、提言実施の状況を確認します。

DBTAP コンサルテーションサービスは、OCDBE ウェブサイト (www.ohiodeafblind.com) 上で DBTAP サービスをクリックして DBTAP コンサルテーションリクエストを完成させることでリクエストできます。